



委員会だより

校名は「大栄みらい学園」に決定!!



地区の皆様には、3月1日付の区長回覧でもお知らせをいたしましたが、大栄地区小中一貫教育校の校名につきまして、準備委員会で検討を進めた結果、次のとおり決定をいたしました。



「(仮称) 成田市立 大栄みらい学園」

この校名には、「これからのみらいある子どもたちを教育する学校にしたい」や「未来永劫にわたり大いに栄えることを願う」との思いが込められています。

また、選考過程では「小学生でも書けるように『ひらがな』を入れたい」、「子供たちへの思いが入った校名が良い」、「濁音が少なく、言いやすい名前が良い」等の意見が出され、最終的に賛成多数で「大栄みらい学園」に決定しました。開校年度が決まり、設置条例等が整備されるまでは仮称扱いとなりますが、大栄地区の新しい小中一貫教育校の校名として、大切に、未永く使用したいと考えています。

そのほかにも、準備委員会では制服や校章、4-3-2の学年段階の区切りなどについても協議を行っておりますので、併せて地区の皆様にお知らせいたします。

第1回準備委員会(8月4日)



校名の選定について協議

組織改正後に初めて開催された委員会となりました。

大栄地区の皆様から応募のあった83件(校名数としては63件)の校名案について報告をし、今後の選定についての協議を行いました。

選定方法については、各委員からの投票後、教育委員会内部での確認作業等を経て数案に絞り込みを行い、次回の準備委員会での決定を目指すことを確認し、その後、校名案について意見交換を行いました。

また、新たに設置した5つの専門部会(1.学校運営教職員連携部会 2.教育課程部会 3.生徒指導部会 4.行事・交流活動部会 5.地域連携部会)の活動内容についても報告を受け、各部会とも具体的な検討に着手していることを確認し、検討内容について情報共有を行いました。

そのほか、大栄地区小中一体型校舎建設事業の実施設計の進捗状況や、大栄診療所から大栄中学校までの市道伊能吉岡線の道路工事の状況について各担当課から報告を行い、その後、制服についても意見交換を行いました。

制服については、大栄地区で唯一、桜田小学校が制服を着用していることから、まずはメリットやデメリットを含めた現状について、桜田小学校出身など、ゆかりのある委員からの説明を受けた上で、次回の準備委員会で再度協議を行うことになりました。



品川区立品川学園視察（11月10日）



前年度に引き続き、大栄地区の皆さまに施設一体型の小中一貫教育の先進校を見てもらうため、視察を行いました。

今回は、平成23年度から小中一貫教育を実践している、東京都品川区にある義務教育学校「品川学園」を、準備委員会8名、大栄地区小学校保護者2名、下総みどり学園校長、教育委員会20名の合計31名で視察しました。

品川学園は、全児童生徒が制服を着用しており、フロア（学年区分）ごとに、教室のレイアウトや廊下の幅が異なるなど、他の学校にはない特色を持った学校でした。

そのほか、品川区では通常の教科に加えて、「市民科」という独自の教科を設けて、人権教育や国際理解教育などに力を入れているとのこと、その様子も見ることができました。

今後の大栄地区の小中一貫教育校の開校に向けて、参考となる部分も多く、有意義な視察となりました。



第2回準備委員会（2月2日）



第1回準備委員会後の検討作業によって絞り込んだ4案の校名について、再度絞り込みを行うため協議を行いました。その結果、冒頭でもお知らせをしましたが、準備委員会として「大栄みらい学園」を選定し、その後、市の内部手続きを経て校名（仮称）が決定いたしました。

また、各専門部会からの報告では、学年段階の区切り【6-3（1年生～6年生、7年生～9年生の2区分）や、4-3-2（1年生～4年生、5年生～7年生、8年生～9年生の3区分）等】について、教育課程をはじめ、様々な検討事項に係る内容であることから、早めに方針を決めたいとの意見が出されました。

教育委員会からは「身体的発達への早期化への対応」や「中1ギャップへの対応」等を考慮すると、下総みどり学園と同様に4-3-2の区切りが望ましい旨の提案を行い、協議を行った結果、大栄みらい学園についても4-3-2の区切りにすることを決定しました。

続いて、制服や校章についても協議を行いました。

制服については、専門部会での検討の結果、「小学校1年生からの制服も良いのでは」との意見が出されたことから、方向性について協議を行いました。その結果、小学校1年生から制服着用となった場合には、近隣の学校にはない大栄みらい学園の大きな特徴となることや、新しい学校として児童生徒の一体感を出せることなどを踏まえ、「1年生からの制服着用」に向けて検討を進めることといたしました。

今後は保護者アンケートを実施するなど、地区の皆様の意向を確認しながら、最終的な結論を出すこととなります。

校章については、校名と同様に公募で行うことも考えられますが、相当程度の時間がかかってしまうことや、選定が難しくなること、また、絵心がある人の方が良いのではないかなど等の観点から、「大栄中学校の美術の先生や、先生の指導のもと美術部の生徒にも手伝ってもらいながら、たたき台となる案を幾つか出してもらう」手法について、教育委員会から提案を行いました。大栄中学校の渡邊校長からは「是非、お願いしたい」とのご意見もいただき、協議の結果、その手法で進めることを決定しました。

そのほか、今年度及び来年度以降の小中一体型校舎建設事業の内容についても報告を行いました。来年度については、メイングラウンドの地面を掘削し、地下に雨水調整槽を作る予定で、その後、メイングラウンドや体育倉庫等の整備を行い、平成31年度から平成32年度にかけて校舎や体育館の建設を行う予定です。まだ本格的な工事に着手をしていない状況ではありますが、平成33年度の開校を目標として整備をしてまいります。

校名選定に際し、たくさんのご応募をいただき、誠に有難うございました。

皆様のご協力のおかげで、大栄地区の新しい小中一貫教育校に相応しい、素晴らしい校名を決めることができました。

今後も校章や制服などの検討が必要となりますので、地域の皆様からのご支援・ご協力をいただきながら、引き続き新しい学校づくりを進めてまいります。

教育委員会事務局：0476-20-1580